

赤い天使 (1966)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 日本

色彩 B&W

時間 95分

初公開日 1966/10/01

公開情報 大映東京

【解説】

有馬頼義の同名小説を増村保造が映像化。ショッキングな内容と映像を通して、激しい愛の形を描いた衝撃作。日中戦争が激しくなる中、西さくらは天津の陸軍病院に従軍看護師として配属される。毎日おびただしい数の兵士が運び込まれ、手術台のそばには切断された手足があふれていた。軍医の岡部はそんな状況に神経をすり減らしモルヒネを常用、不能となってしまう。さくらはそんな岡部を治そうと、一緒に寝るのだった。やがて二人は応急看護班として、前線へ行くことになるのだが…。

【クレジット】

監督 増村保造

企画 久保寺生郎

原作 有馬頼義

脚本 笠原良三

撮影 小林節雄

編集 中静達治

音楽 池野成

助監督 崎山周

出演	若尾文子	西さくら
	芦田伸介	岡部軍医
	井上大吾	尖兵中隊の伍長
	河島尚真	衛生兵
	喜多大八	野上衛生上等兵
	後藤武彦	負傷兵A
	三夏伸	兵隊
	小山内淳	特務曹長
	千波丈太郎	坂本一等兵
	川津祐介	折原一等兵
	谷謙一	負傷兵
	中原健	負傷兵B
	仲村隆	小隊長
	飛田喜佐夫	患者
	一条淳子	従軍婦A
	甲千鶴	従軍婦B
	荒木康夫	負傷兵C

松村若代	看護婦 B
真杉美智子	看護婦 C
赤木蘭子	岩島婦長
竹里光子	看護婦 A
志保京助	中国人ボーイ
佐山真次	傷病兵
池上綾子	津留崎看護婦
藤野千佳子	従軍婦 C
南堂正樹	負傷兵 D
有島圭子	看護婦 D